

報道機関各位

りっこう  
『陸閘稼働デモ』と『ドローンによる被害状況確認』  
令和5年度門司区総合防災訓練実施

柄杓田校区は平成11年台風18号による高潮災害を経験したことから住民の防災意識が高く、特に高潮や津波に対して関心が高い地域です。

本訓練で地震発生時の避難行動を確認し、高齢者や障がい者等の避難行動要支援者への適切な避難支援活動を確認するとともに、住民参加型の総合的な防災訓練を実施し、地域住民の防災意識や災害対応能力の更なる向上を目的とします。

つきましては、取材方よろしくお願ひいたします。

◇ 日時：令和5年11月25日(土) 9時00分～12時00分

※1 雨天の場合、屋外で行う訓練と車両展示は中止します。

※2 訓練中止の連絡は、取材連絡票に記載された連絡先に対し、当日6時30分までに連絡します。

◇ 会場：(1) 柄杓田小学校 門司区柄杓田 1002 番 1 号  
(2) 柄杓田漁港 門司区柄杓田 1420 番付近

◇ 訓練の構成

第1会場：柄杓田小学校 9時00分～10時20分

(1) 避難訓練

(2) 防災講話など(障がい者支援、高潮災害について)

(3) 被害状況確認訓練(ドローン撮影)

(4) 住民参加型訓練 ①煙体験 ②初期消火訓練 ③負傷者搬送訓練

第2会場：柄杓田漁港 10時30分～12時00分

(5) 住民参加型訓練 ④地震体験

(6) 陸閘稼働デモ

(7) 車両展示

①陸上自衛隊

②門司警察署

③門司消防署

④門司消防団

(8) 炊き出し

※住民参加訓練では、小学生と保護者、地域住民のみなさまと一緒に体験します。

◇ 参加機関等

参加団体：13団体、参加人員：約130人(内地域住民：約80人)

陸閘(りっこう)とは？

河川等への出入り口の開閉を可能にする、堤防を切って設けられた門扉。通常時は生活のため通行できるようにゲート等は開いているが、増水時には海面の上昇と共にゲートが押し上げられ、自動閉鎖し、暫定的に堤防と同様に高潮や津波が来た際の浸水を防ぐ防災機能の役割を果たしている。

陸閘(りっこう)使用事例

2023年7月10日 大分県中津市にある溪谷・耶馬溪では、豪雨による山国川の氾濫に備え高さ約1.42mの陸閘を封鎖した。耶馬溪橋は濁流にのまれて欄干が壊れた一方、一帯の住宅が浸水することはなかった。

【問合せ先】

門司区役所総務企画課

担当：崎田・柴崎

電話：093-331-1881(内211)

FAX：093-331-1805



【FAX送信先】

門司区役所総務企画課 崎田・柴崎 行 FAX : 331-1805

※ 駐車場所に限りがあるため、取材される場合は11月23日(木)までに取材連絡票のFAXをお願いいたします。

## 令和5年度 門司区総合防災訓練取材連絡票

※ お手数ですが、所定の欄に御記入いただきますようお願いいたします。

### 1 取材社情報

報道機関名	人数	車両台数

### 2 通常連絡窓口 担当者

氏名	
電話番号	

### 3 当日、訓練を中止する場合等の緊急連絡先

該当する□にチェック☑をお願いします。

上記と同様

上記と異なる：以下に連絡先をご記入ください。

氏名	
電話番号	